



# 小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : [info@otc-oguri.com](mailto:info@otc-oguri.com) <http://www.otc-oguri.com>

2017年2月7日(火)

## 意味構造の作成手順

「意味構造」とは、文章表現では説明が難しい複雑な問題・課題・提案について、意味する構造（因果関係）を分かり易く可視化する図解表示のことを言い、以下、その実務的な作成手順を解説致します。

### 意味構造の種類

意味構造には、KJ法の問題・課題解決順序に従って、次の二つの種類があります。

1	現状把握ラウンド	問題・課題の背景、現状に関する情報（生データ）を収集し、検討、図解する
2	構想計画ラウンド	問題・課題解決の構想・具体策を発想し、図解する

上記の1と2の順序を守ることが大切です。

### 現状把握ラウンドの実施手順

	作業内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題・課題の背景や現状に関する情報（生データ）を、現場で収集する</li> <li>データを個別に名刺大のカードに書く</li> <li>データの“新鮮さ・生性”を確認。チームで理解、共有する</li> </ul>
2	内容が似たデータをグルーピングし、各グループに表札（要約表現）をつける。グループの表札を生データとして扱い、5～6グループ（「島」という）となるまで実施する
3	各島間を矢印で結び、因果構造図解作成（机上でシミュレーション的に実施）

	・「島」の重要性を各メンバーが5点法で評価し、合計点で重みづけする
4	図解から問題・課題の全体像を説明する要約文を作成

### 構想計画ラウンドの実施手順

	実施内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体策データを発想し、カードに書く（現状把握ラウンドのデータの“裏返し”）</li> <li>（注意）創意工夫し、かつ、すぐに着手可能な具体策を表現すること</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>因果構造図の確認（＝現状把握ラウンド）</li> <li>・「島」の重要性を各メンバーが5点法で評価し、合計点で重みづけする</li> </ul>
3	図解から問題・課題解決策の全体像を説明する要約文を作成

### 検討、作成上の留意点

- ① 現状把握ラウンドで最初に収集する情報（生データ）は、“三現主義”で、現場をよく観察してカード化する。
- ② 現状把握ラウンド・構想計画ラウンドともチームワークを生かして作成すると、メンバーの共創効果が生かされるとともに意欲向上が図れる。



現状把握ラウンドデータの新鮮さが命！